

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1136
施設名	きたひだまり保育園
施設所在地	国立市北3-4-2-1
法人名	社会福祉法人国立保育会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

感触 0歳児「砂①～④」

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

日頃から感触遊びを行っていたため、更にいろいろな素材に触れることで、興味の幅が広がればと思い設定する。

活動スケジュール

令和6年11月～令和7年3月まで

子どもが自発的に〇〇したい！やってみたい！と言う要望があったときや雨天時、日中の活動の中で子供の様子を見ながら行っていく。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

①園庭のままごとテーブルに砂を無造作に置いておく。

・つかまり立ちを楽しむ様子が見られるので、砂を置いておくことでつかまり立ちをして遊びが出来るよう仕掛けて置く。

②バケツに水を入れてカップを置いておく。

・繰り返しの遊びの中で小さいカップにも入れられるようになってきたので、様々な形のカップを置いておき自分たちで選べるようにしていった。

③砂場にシャベルや型抜きを置いておく。

・乗り物の玩具を何台か置いておく。

・繰り返しの遊びの中で小さいカップにも入れられるようになってきたので、様々な形の

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

砂の傍にカップを置いておき砂を触ってどのように行動するのかを見る。
繰り返しの遊びの中で小さいカップにも入れられるようになってきたので、様々な形のカップを置いておき自分たちで選べるようにしていった。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ①手で砂をテーブルにこすって遊びカップを見つけるとカップを使って砂をいじっている。
- ②水に興味を示してカップで水をすくっている。
 - ・砂にすくった水を流して遊び始めたり、砂をバケツに入れて遊ぶ。
- ③砂場で繰り返し遊ぶ中で月齢の高い子は、バケツなどの大きい入れ物ではなく型抜きに砂を入れられるようになってきた。
 - ・道路を走る車を指さしで知らせ興味を示している。トラックに砂を入れて置いておくと、荷台を動かして砂が落ちるのを見て楽しんでいた。
- ④保育者がシャベルで穴を掘ると興味を示して、手やシャベルと一緒に穴を掘ろうとする。
 - ・穴がある程度の深さになったときに水を入れる。シャベルで水をすくったり、水に砂を入れて楽しむ。
 - ・水がなくなると、砂しめり年齢的にも掘りやすいようで砂をシャベルを使って掘ることに集中していた。

写真は園ホームページ→アルバム→すくわく

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

①砂の感触やカップで砂を触ったときの音などを楽しんでいた。

・次回はカップに水を入れておき、砂の色の変化や感触の違いを経験できるようにしていきたい。

②砂を浅く平らにしていたので水を流すとすぐに水たまりができて泥の感触も楽しんでいた。

・砂や泥で保育者が型抜きをすると崩すことを楽しむ子が多く、崩しながら感触を楽しんでいた。

③ままごとでの砂遊びが多かったので、車での見立て遊びも楽しんでもいけるように仕掛けを置いていきたい。

④冬の時期で水が冷たかったが湿った砂の感触を楽しんでいた。